

「7000人の復興会議」中間整理とこれまでの委員会の意見から見た課題の整理について

「7000人の復興会議」の町民の意見

- ・復興への思い
- ・住みたい場所(仮の町を含む)[一日も早く仮の町を、仮の町は希望しない、町民が一か所に集まることが大切、仮の町は複数があってよい等]
- ・仕事・産業[双葉町の名産品の復活、若者が仕事のできる環境等]
- ・教育[学校の再開、生まれたときに双葉町民だった子供たちのネットワーク等]
- ・医療・福祉[充実した医療機関・介護施設、かかりつけの医師がいる生活等]
- ・避難生活[仮設住宅の生活が不便等]
- ・双葉町の復旧・復興[双葉町に戻りたい、お墓を再建したい等]
- ・放射線の影響[放射能のない町をつかってほしい、放射線被ばくの影響が心配等]
- ・除染・中間貯蔵施設[除染ができなければ帰れない等]
- ・情報共有とコミュニティの維持[町民の交流会がほしい等]
- ・語り継ぎたい双葉町の暮らし
- ・残したい双葉町の歴史・文化

課題

- 双葉町復興まちづくり計画は何を目指した計画とするか
例)「仮の町」の計画か、双葉町の復興か
- 当面の生活拠点をどうするか
例)「仮の町」とは？教育の在り方は？
- 双葉町への帰還をどのように考えるか
例)帰還できるため条件とは？双葉町の復旧・復興の在り方は？
- 双葉町の文化・コミュニティをどう維持するか
例)避難町民のコミュニティの維持は？歴史・文化をどう継承するか

復興まちづくり委員会の委員の意見

- ・短期的、中期的、長期的な課題整理が必要
- ・双葉町の復興とは、元の双葉町に行って復興するのか、どこかに仮の町をつかって復興するのか
- ・双葉町に帰れることを前提に議論するのか
- ・仮の町は、大きな町を一か所に作るのか、コンパクトな町を複数にするのか
- ・時限的まちづくりとして考えるべきか、長期的なまちづくりとすべきか
- ・双葉町を元に戻して次の世代につなぐことは必要
- ・避難生活の改善が必要
- ・学校の再開が必要
- ・仮の町だけでなく複数の選択肢が必要
- ・町に帰れるのか、帰れないのか
- ・線量が高い地区もあれば低い地区もある。低い地区をどうするか
- ・避難生活の中でも双葉町のアイデンティティを残し、双葉町の絆を確保しなければならないが、一方で新しいコミュニティも必要
- ・双葉町にあった歴史、文化などをもとにコミュニティを作り上げるべきではないか

意見は、複数言及されているものなど、主要なものを抜粋している